

自：2025年4月1日～至：2026年3月31日

ごあいさつ

初夏の日差しが爽やかな季節を迎え、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

ここに当金庫第 103 期の決算をご報告申し上げるにあたり、平素のご愛顧とお引き立てに対して、心より厚くお礼申し上げます。

さて、我が国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、米国による関税政策や中東情勢の緊迫化などの地政学的リスクを背景に、経済情勢の不確実性が極めて高まっており、経済への影響拡大が懸念されております。

このような情勢のもと、地域経済の担い手である中小企業は、原材料価格の高騰や人件費の負担増などのコストアップに対して価格転嫁が思うように進んでいないことに加え、急速に進む人口減少や少子高齢化などを背景に、深刻な人手不足や後継者問題等、多くの経営課題に直面し、経営環境は依然として厳しい状況となっております。

当金庫といたしましては、引き続き取引先事業者への影響や業況を把握しながら、きめ細やかな資金繰り支援の他、直面する様々な経営課題に真剣に向き合い、解決に向けてスピード感を持って行動に移してまいります。

地域貢献への取り組みといたしましても、「射水市まちづくりファンド」を活用した新湊地区内川エリアの更なる活性化に向けた取り組みを継続的に進めてまいります。また、昨年 12 月に放生津八幡宮祭の曳山・築山行事がユネスコ無形文化遺産に登録されるという明るい話題がありました。地域の大切な文化の継承に役立てていただくための寄付金付き定期預金を取り扱うなど、地域の持続的発展に向けた様々な取り組みを今後も進めてまいります。

これからも当金庫は、相互扶助を理念とする協同組織金融機関としての使命に徹し、地域の事業者や住民の方々に認められ必要とされる金融機関を目指し、微力ではございますが役職員一丸となって努力してまいります。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和 8 年 6 月

理事長 白田克己

貸借対照表

第103期 2026年3月31日現在

単位：千円

資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現 金	780,034	預 金 積 金	83,864,299
預 け 金	19,870,605	当 座 預 金	1,752,530
買 入 金 銭 債 権	25,907	普 通 預 金	29,937,209
有 価 証 券	33,907,311	貯 蓄 預 金	58,527
国 債	1,626,430	通 知 預 金	229,575
地 方 債	5,136,004	定 期 預 金	49,809,853
社 債	20,729,614	定 期 積 金	1,744,570
株 式	252,505	そ の 他 の 預 金	332,032
そ の 他 の 証 券	6,162,756	借 用 金	25,000
貸 出 金	31,378,244	借 入 金	25,000
割 引 手 形	34,791	そ の 他 負 債	212,602
手 形 貸 付	1,390,987	未 決 済 為 替 借	17,791
証 書 貸 付	28,813,921	未 払 費 用	110,140
当 座 貸 越	1,138,543	給 付 補 填 備 金	1,070
そ の 他 資 産	686,789	未 払 法 人 税 等	712
未 決 済 為 替 貸	13,972	前 受 収 益	7,819
信 金 中 金 出 資 金	505,500	払 戻 未 済 金	2,685
前 払 費 用	950	払 戻 未 済 持 分	335
未 収 収 益	139,152	職 員 預 り 金	37,345
そ の 他 の 資 産	27,214	リ ー ス 債 務	21,259
有 形 固 定 資 産	715,675	そ の 他 の 負 債	13,442
建 物	220,352	賞 与 引 当 金	17,597
土 地	442,891	退 職 給 付 引 当 金	31,857
リ ー ス 資 産	19,656	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	37,829
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	32,775	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	892
無 形 固 定 資 産	10,622	偶 発 損 失 引 当 金	9,011
ソ フ ト ウ ェ ア	9,270	債 務 保 証	8,123
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	1,351	負 債 の 部 合 計	84,207,213
債 務 保 証 見 返	8,123	出 資 金	139,778
貸 倒 引 当 金	△979,287	普 通 出 資 金	139,778
(うち個別貸倒引当金)	(△940,906)	利 益 剰 余 金	3,891,992
		利 益 準 備 金	139,478
		そ の 他 利 益 剰 余 金	3,752,514
		特 別 積 立 金	3,501,000
		(うち事務合理化積立金)	(80,000)
		(うち改築積立金)	(230,000)
		当 期 未 処 分 剰 余 金	251,514
		会 員 勘 定 合 計	4,031,771
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△1,834,957
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△1,834,957
		純 資 産 の 部 合 計	2,196,813
資 産 の 部 合 計	86,404,027	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	86,404,027

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

第103期〔2025年4月1日から
2026年3月31日まで〕

単位：千円

科 目	金 額
経 常 収 益	1,055,753
資 金 運 用 収 益	878,804
貸 出 金 利 息	352,006
預 け 金 利 息	128,295
有 価 証 券 利 息 配 当 金	387,164
そ の 他 の 受 入 利 息	11,338
役 務 取 引 等 収 益	64,747
受 入 為 替 手 数 料	32,499
そ の 他 の 役 務 収 益	32,248
そ の 他 業 務 収 益	14,780
国 債 等 債 券 売 却 益	11,440
国 債 等 債 券 償 還 益	21
そ の 他 の 業 務 収 益	3,319
そ の 他 経 常 収 益	97,420
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	79,462
償 却 債 権 取 立 益	2
株 式 等 売 却 益	17,317
そ の 他 の 経 常 収 益	638
経 常 費 用	909,469
資 金 調 達 費 用	182,643
預 金 利 息	181,408
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	850
借 用 金 利 息	201
そ の 他 の 支 払 利 息	181
役 務 取 引 等 費 用	41,029
支 払 為 替 手 数 料	9,859
そ の 他 の 役 務 費 用	31,170
そ の 他 業 務 費 用	39,965
国 債 等 債 券 売 却 損	39,841
国 債 等 債 券 償 還 損	19
そ の 他 の 業 務 費 用	103
経 常 費	634,157
人 件 費	353,937
物 件 費	251,934
税 金	28,285
そ の 他 経 常 費 用	11,674
株 式 等 売 却 損	5,411
そ の 他 資 産 償 却	200
そ の 他 の 経 常 費 用	6,062
経 常 利 益	146,283
特 別 利 益	—
特 別 損 失	0
固 定 資 産 処 分 損	0
税 引 前 当 期 純 利 益	146,283
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	712
法 人 税 等 調 整 額	—
法 人 税 等 合 計	712
当 期 純 利 益	145,571
繰 越 金（当 期 首 残 高）	105,942
当 期 末 処 分 剩 余 金	251,514

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

剰余金処分計算書

第103期〔2025年4月1日から
2026年3月31日まで〕

科 目	金 額
当 期 末 処 分 剩 余 金	251,514,059 ^円

これを次のとおり処分いたします。

剩 余 金 処 分 額	4,412,304 ^円
利 益 準 備 金	300,000
普通出資に対する配当金(年3.0%)	4,112,304
繰 越 金（当 期 末 残 高）	247,101,755

以上のとおり報告いたします。

2026年6月

地域社会とともに発展していく
新 湊 信 用 金 庫

理 事 長 白 田 克 己
常 務 理 事 竹 内 俊 尚
常 勤 理 事 長 慶 清
常 勤 理 事 樋 上 康 吉
理 事 鷲 北 昭 雄
理 事 下 保 隆
理 事 中 野 岳

以上監査の結果適法かつ正確妥当であることを認めます。

常 勤 監 事 北 山 誠
監 事 長 谷 川 修 博
監 事 片 岡 幹 夫

(注) 監事 長谷川 修博は信用金庫法第32条第5項に定める
員外監事であります。